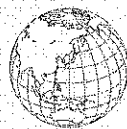




# Life is so precious!

仕事も人生も もっと楽しく! 美しく! — ②

撮影/森賢一 取材・文/藤田 優



## ASO

大津さん夫妻が拠点とする熊本県南阿蘇村の中郷地区は、阿蘇の名山が望める風光明媚な場所。土地の形を生かした田んぼ、そのなかにはお宮さんの建つ小さな森。「大好きなドイツの景色に、どこか似ている」と大津さん。大学で「環境と共生する都市計画」を専攻、転機はドイツでの留学生活にあった。国土保全計画を教わった教授は、自ら育てた有機小麦でパンを焼き、生徒にふるまうような人だった。「発言と行動が一致している人はかっこいい」と大津さんに影響を与えた。

知られている社会がドイツにはありません。農業は命を支える食糧を生み、その過程で国土や生物多様性を守る。自分たちが働く立場になったとき、「努力のしがいがあるのは、ただプランを提案するよりも、自然のなかでものづくりを考える農業だね」と。いいものをつくる生産者を買いたい社会が育つていく希望を抱きながら、専業農家として働く叔父のところへ、夫とふたりで就農したんです。

方法で育てているし、阿蘇に広がる草を資源に石油の代替エネルギーを生むプラントづくりを自治体にもちかけた。評判は口コミで全国に広がり、来年で10年目を迎える「O2ファーム」の稲作面積は当初より3倍に増えたという。「うちのお米は安くはないけれど、つくる経緯とその意味をわかりやすく伝える努力をしています。もの申せる農家が私たちのモットーです」

### 世界各国キャリアへ、5つの質問

- Q1 仕事の成功のためにしている習慣は?  
相手の立場に立って、自分が何を求められているのかを考える。
- Q2 バッグに必ず入っているもの3つは?  
生傷が絶えない息子たちのための絆創膏、iPhone、名刺。
- Q3 あなたの街のストレス解消スポットは?  
温泉と水源。水が湧いてくるのを見ているだけでも癒やされます。
- Q4 理想の週末の過ごし方は?  
休みがとれた日は、自宅の庭で気の合う友人とバーベキュー。
- Q5 人に言われてうれしいほめ言葉は?  
「いつも楽しそうにしているね」



## ひとりひとりが暮らしやすい 社会をつくる提案として 選んだ農業という仕事

「O2ファーム」主宰  
大津愛梨さん

37歳。ドイツ生まれ、東京育ち。慶應義塾大学環境情報学部卒業後、同級生の夫とドイツの大学院に留学。夫の故郷、熊本県南阿蘇村に'02年に移住。叔父と共に有機無農薬米やあか牛を育てる。

'04年、阿蘇の草資源を使うNPO法人九州バイオマスフォーラムを立ち上げた。3人の男児の母。